

長期使用製品安全表示制度の創設

～ 製品の長期使用に伴う経年劣化事故の防止 ～

～電気用品安全法技術基準省令の改正～

平成21年4月1日から施行

経年劣化による重大事故発生率は高くないものの、事故件数が多い製品について、設計上の標準使用期間と経年劣化についての注意喚起等の表示が義務化されました。

改正消費生活用製品安全法(平成19年11月公布)における長期使用製品安全点検制度の対象とはならないものの、長期に亘り使用される製品であるため、消費者等に長期使用時の注意喚起を促す表示を義務付ける制度です。

< 表示制度の対象製品 >

扇風機

エアコン

換気扇

洗濯機

ブラウン管テレビ

計5品目

具体的には、洗濯機(乾燥装置を有するものを除く。)及び脱水機(洗濯機と一体になっているものに限る。)

【対象者】

電気用品のうち扇風機、電気冷房機(エアコン)、換気扇、電気洗濯機(洗濯乾燥機を除く。)、テレビジョン受信機(ブラウン管テレビ)の5品目について製造又は輸入を行っている事業者

【義務】

「電気用品の技術上の基準を定める省令」に追加された技術基準の項目(下図の表示)の遵守。

→ 電気用品安全法といった製品ごとの個別法の技術基準省令によって対応

違反→命令→販売禁止→罰則・併科あり

< 表示イメージ >



【製造年】 20XX年
【設計上の標準使用期間】 年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間

標準的な使用条件(右図参照)の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間として、設計上設定されたものです。標準的な使用条件等の設計標準使用期間の算出根拠を、製品に同梱する取扱説明書等に記載することが望まれます。

扇風機の標準使用条件の例

環境条件	電圧	単相 100V 又は単相 200V
	周波数	50 Hz 及び / 又は 60 Hz
	温度	30
	湿度	65 %
	設置	標準設置
負荷条件	定格負荷(風速)	
	扇風機(壁掛け扇、天井旋回扇を含む。)	運転時間 8h / 日 運転回数 5回 / 日 運転日数 110日 / 年 スイッチ操作回数 550回 / 年 首振運転の割合 100 %
想定時間など		

設計上の標準使用期間の設定に当たっては、できる限り統一した考え方で設定されることが望まれることから、それぞれの標準的な使用条件について、JISが制定されました。